

誤飲

誤飲



ボタン電池は
とりだして
誤飲が
6割り



誤飲

生後5ヶ月を過ぎると誤飲の事故が増え、特に6ヶ月から2歳までの男児に多く、4割は誤飲現場を目撃されていません。「さっきまであったはずの物が無い」場合に、誤飲を疑うことは事故を見逃さないために大事なことです。口から飲んでだけでなく、鼻や耳に入れていることも…。誤飲で多いものは**1位 たばこ**・**2位 医薬品**・**3位 プラスチック製品やおもちゃ**です。



子どもを育てる生活にはいろいろな
お道具やおもちゃを必要としますが、
お道具やおもちゃは小さくしてあげると
安全でいいですね。

誤飲受診時 伝えてください

- 1 誤飲した物
- 2 個数
- 3 場所
- 4 時間
- 5 応急処置の有無
- 6 応急処置の内容
- 7 嘔吐や腹痛などの症状はないか

受診したときに病院で伝えてください。同じものがあれば持参してください。

予防のポイント

通る危険

- 1 誤飲するサイズ (39mm 以下)
- 2 小さな生活用品は手の届かない高さに (1m 以上)
- 3 小さなおもちゃは 4 歳から
- 4 ピーナッツなどの豆類は 4 歳から
- 5 大きな食品は小さく刻む
- 6 異物を口に入れているのを発見したときは
大声を出さない

異物を口に入れているのを発見したときは、発見者が大声を出して慌てたり叱ってしまうと子どもがびっくりしたり泣き出して飲み込んでしまうことがあるので、慌てず優しく口から出させる。



参考文献
松裏裕行：誤飲・誤嚥、小児内科 48：1780-1782,2016 吉岡隆文他：ボタン電池誤飲、レジデントノート 14：2908-2914,2013 北澤克彦：保護者への説明マニュアル（誤飲・誤嚥）、小児科診療 77：1699-1704,2014 古田靖彦他：胃・消化管異物の診断と治療、小児外科 37：885-891,2005 原田正平：誤飲による子どもの事故、チャイルドヘルス 20：273-276,2017 長村敏生：乳幼児の誤飲事故の特徴と対策、小児科臨床 69：2617-2624,2016 沖剛他：異物誤飲、小児科診療 81：181-187,2018 日本小児外科学会：リチウム電池に関する警告 (<http://www.jisps.gr.jp/general/attention/lithium-battery>)

緊急度

飲んだもの・状態

119番

救急車



119

- のどにものを詰まらせていそうな呼吸の様子 → **吐かせる**
- けいれん
- ぐったりして呼びかけてもぼんやり



3~15歳までの
子どもの口の大きさ

最大直径39mm

この丸よりも小さな物は乳幼児でも誤飲します。成人の親指と人差し指で作った輪やトイレトペーパーの芯を目安にしてください。

- 灯油 ● ベンジン ● 除光液
- 農薬 ● 殺虫剤 ● ネズミ駆除剤



- 突然の咳き込み、咳の出現
- 声がかすれている
- ゼーゼー・ヒューヒューした呼吸
- 吐く・下痢・腹痛などの症状

こんな場合も
救急車を要請してOK



- ボタン電池 できるだけ**総合病院**を受診
- 鋭利な異物 ガラス・針・ヘアピン・カッターの刃 など
- 磁石 **同じものがあれば持参**

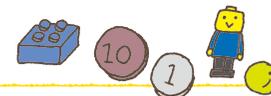


自家用車で
急いで受診

- 家庭用化学用品 トイレ用スタンプ洗剤・パック型液体洗剤
吸水性樹脂・水で膨らむビーズ
芳香剤・消臭剤・防虫剤・漂白剤 など

- たばこ 商品名、誤飲した量と内容
- くすり **同じもの**・お薬手帳もあれば持参

- コインやおもちゃ等
よく誤飲しやすいもの



- 少量のインク、クレヨン、絵の具、粘土、化粧品（口紅、ファンデーション）、せっけん
心配な場合は電話などで相談の上受診



診療時間内

症状がなくても受診してください

誤飲での受診の際は基本的に

吐かせない で **同じものがあれば持参** してください。

窒息で苦しんでいる場合（気道異物）は吐き出させないといけませんが、飲み込んだ場合（消化管異物や薬物誤飲）には、無理に吐かせても有効でなく「吐かせたものが原因で窒息」したり、胃に落ちたものが逆流して食道に引っかかり危険な場合もあり、現在では家庭で吐かせることは勧められていません。



気道異物の対処法 子どもを大人の太ももの上でうつぶせに乗せて、片方の手で顔を支え、頭を胸よりやや低い状態にします。もう片方の手の付け根で背中の中を何度も連続して強く叩きます。

基本的に吐かせないで同じものがあれば持参してください。

※窒息で苦しんでいる場合（気道異物）は吐かせてください

この薬をのみました



ボタン電池

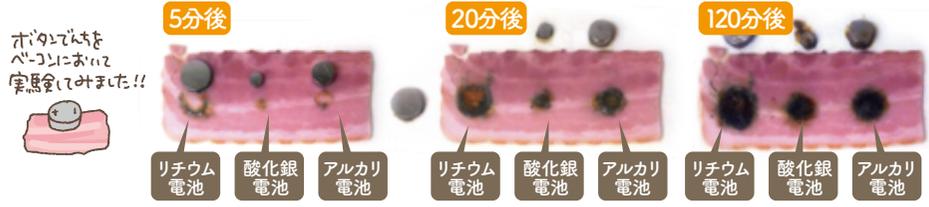
総合病院をすぐに受診 同じものを持参

ボタン電池の誤飲の6割は何らかの機器から取り出された物。機器などから取り出されて外に放置してあった物は3割強です。電池の入っている機器の蓋を子どもが簡単に外せないようにしましょう。誤飲した場合は、全身麻酔での内視鏡や、場合によっては手術になる可能性もあるので総合病院を受診してください。

- 総合病院をすぐに受診
- 吐かせない
- 同じ物を持参
 - 電池の種類（型番）
 - 新品か使用済みか
 - 一緒に磁石を誤飲していないか

- 補聴器
- 体温計
- 車のキー
- ペンライト
- ミニゲーム
- キッチンタイマー

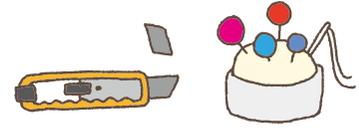
こんなものに注意！



鋭利な異物

すぐに受診 同じものを持参

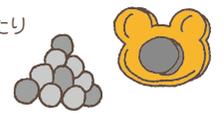
裁縫針や魚骨など。鋭利な異物による合併症は他の異物よりも高いです。腸管に穴を開けたりひっかかったり、内臓を損傷したりする可能性があります。



磁石

すぐに受診 同じものを持参

磁石は2個以上飲み込むと、磁石に食道・胃・腸の粘膜が挟まれて閉塞したり穴を開けたりするため取り出す必要があります。磁石を飲み込んだ子の4割が複数個飲んでたという報告も。磁石が1個でも他に金属を飲み込んでいれば複数磁石と同じく緊急事態。永久磁石で最も強いネオジウム磁石による事故の報告もあります。



- おもちゃの磁石
- 磁石を使った家庭用健康商品

こんなものに注意！

家庭用化学製品

すぐに受診 同じものを持参

トイレ用洗剤（トイレ用スタンプ洗剤など）、漂白剤、防虫剤、灯油、マニキュアおよび除光液などは特に危険。最近ではバック型液体洗剤も。

- トイレ用スタンプ洗剤
- バック型液体洗剤



たばこ

すぐに受診 同じものを持参

誤飲する異物としては最も多い。電子たばこのニコチンカートリッジはニコチンが濃縮されており危険。

- 商品名、誤飲した量と内容（新品・吸い殻・灰皿の水）
- 電子タバコも家では吸わない
- ジュースの缶などに吸い殻を入れない
- 手に届く場所に置かない

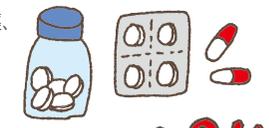


くすり

すぐに受診 同じものを持参

誤飲する異物第2位は医薬品。家族が内服している血圧を下げる薬、不整脈を抑える薬、血糖を下げる薬、眠剤などに注意。

- お薬手帳もあれば持参



灯油、除光液を飲んだ場合は何も飲ませず、吐かせず救急車を呼んでください。



困ったときは「中毒110番」 情報提供料：無料

大阪中毒110番 (24時間対応) 072-727-2499	つくば中毒110番 (9時～21時対応) 029-852-9999	タバコ誤飲事故 専用電話 (365日24時間・自動音声) 072-726-9922
--------------------------------------	---	--

誤えん・誤飲対処早見表

吐かせない

同じものを持参

※窒息で苦しんでいる場合（気道異物）は吐かせてください

緊急度

飲んだもの・状態

救急車



119

- のどにものを詰まらせて
いそうな呼吸・様子 → **吐かせる**
- けいれん
- ぐったりして呼びかけてもぼんやり



119番



- 灯油 ● ベンジン ● 除光液
- 農薬 ● 殺虫剤 ● ネズミ駆除剤



- 突然の咳き込み、咳の出現
- 声がかすれている
- ゼーゼー・ヒューヒューした呼吸
- 吐く・下痢・腹痛などの症状

こんな場合も
救急車を要請してOK



- ボタン電池 できるだけ**総合病院**を受診

- 鋭利な異物 ガラス・針・ヘアピン・カッターの刃 など

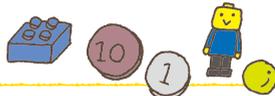
- 磁石 **同じものがあれば持参**

- 家庭用化学用品 トイレ用スタンプ洗剤・バック型液体洗剤
吸水性樹脂・水で膨らむビーズ
芳香剤・消臭剤・防虫剤・漂白剤 など

- たばこ 商品名、誤飲した量と内容

- くすり **同じもの・お薬手帳もあれば持参**

- コインやおもちゃ等
よく誤飲しやすいもの



- 少量のインク、クレヨン、絵の具、粘土、
化粧品（口紅、ファンデーション）、せっけん

心配な場合は電話などで相談の上受診



症状がなくても受診してください

自家用車で
急いで受診



診療時間内



大阪中毒110番

072-727-2499

つくば中毒110番

029-852-9999

タバコ誤飲事故専用電話

072-726-9922

気道異物の対処法 子どもを大人の太ももの上でうつぶせに乗せて、片方の手で顔を支え、頭を胸よりやや低い状態にします。もう片方の手の付け根で背中の中身の真ん中を何度も連続して強く叩きます。

窒息で苦しんでいる場合（気道異物）は吐き出させないといけませんが、飲み込んだ場合（消化管異物や薬物誤飲）には、無理に吐かせても有効でないだけでなく「吐かせたものが原因で窒息」したり、胃に落ちたものが逆流して食道に引っかかり危険な場合もあり、現在では家庭で吐かせることは勧められていません。